

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2007年2月5日～)
～日米欧とも金融当局のアクションに要注目～

発表日: 2007年2月6日 (火)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
2月5日(月)	日本	—					
	欧州	—					
	米国	I S M非製造業景況指数(1月)	★★	57.0	53.5~58.2	56.7	
2月6日(火)	日本	景気動向指数(12月)・先行D I	★★	25.0	15.0~35.0	18.2	
		一致D I		61.1	50.0~70.0	65.0	
		10年物価連動債入札					
	欧州	欧州小売売上高(12月)		+0.8%	+0.3~+1.5%	+0.5%	前月比
	米国	3年債入札	★				
		バーナンキFRB議長スピーチ	★★★				
		ポールソン財務長官議会証言(上下院)	★★★				
		シカゴ連銀総裁講演	★				
2月7日(水)	日本	—					
	欧州	英鉱工業生産(12月)		+0.1%	▲0.2~+0.3%	+0.5%	前月比
	米国	労働生産性(10~12月期)	★	+1.5%	+0.7~+2.5%	+0.2%	前期比年率
		単位労働コスト(10~12月期)	★★	+2.4%	+1.8~+4.2%	+2.3%	前期比年率
		消費者信用残高(12月)		+55	+30~+102	+123	億ドル・前月差
		10年債入札	★★				
		ポールソン財務長官議会証言(下院)	★★				
		サンフランシスコ連銀総裁講演	★				
	フィラデルフィア連銀総裁講演	★					
2月8日(木)	日本	マネーサプライ(1月)・M2+CD	★	+0.9%	+0.7~+1.0%	+0.8%	前年比
		景気ウォッチャー(1月)・現状判断D I	★	49.0	48.5~49.5	48.9	
		5年債入札	★				
		岩田日銀副総裁講演	★★★				
		春日銀審議委員講演	★				
	欧州	独製造業受注(12月)	★	+0.5%	▲0.5~+1.0%	+1.5%	前月比
		ECB理事会(7日~)	★★★	±0bp	±0bp	±0bp	現行: 3.50%
		BOE金融政策委員会(7日~)	★★★	±0bp	±0~+25bp	+25bp	現行: 5.25%
2月9日(金)	米国	30年債入札	★				
	日本	機械受注(12月): 除船電・民需	★★★	▲0.6%	▲4.5~+7.0%	+3.8%	前月比
	欧州	独鉱工業生産(12月)	★	+0.6%	▲0.3~+1.0%	+1.8%	前月比
	米国	セントルイス連銀総裁講演	★				
2月10日(土)	他	G7(エッセン)(~10日)	★★★				
2月11日(日)		—					

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
注目度は筆者

【債券市場】: 図表は3~4ページ

先週は、まちまち。日本では、日銀が2月に利上げするとの見方が燦る中、債券相場は軟調(金利は上昇)に推移した。一方、米国ではFOMC後の声明で、インフレ指標の改善が指摘されたことを好感、金利は前週末水準を下回って越週した。

今週は、経済指標では日本は週末の機械受注、米国は週央の雇用コストが注目される。ただし、それ以上に注目されるのは、内外とも当局者発言やイベントだ。日本では、岩田日銀副総裁の講演が注目される。足元での“利上げ慎重派”と目されているだけに、2月決定会合で引き続き利上げ反対姿勢を取るのかどうかを見極める上で、足元の景気認識や物価に対する考え方などもみたいところ。米国では、バーナンキFRB議長をはじめとしたFed高官の景気認識に要注目だ。欧州では、ECBとBOEの金融政策動向が注目さ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

れる。ECBは3月利上げを示唆する声明となるのか、BOEは再度予想外の利上げを断行するのが注目の点。ECBに関しては、3月利上げ予想が多いだけに、“そうならないことを示唆する声明”であればサブライズ。景気指標の発表が少ないだけに、金利が大幅に上下することは考えにくいものの、先行きを見る上では材料の多い週と言えよう。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、世界的に堅調な展開となった。10～12月期の決算をこなしながらの展開となったが、米経済を中心とした世界的な景気回復観測の高まりを背景に、株価は底堅く推移した。

今週は、米国では業績発表がほぼ一服、今週は金利や原油価格動向を睨みながらの展開が予想される。経済指標の発表が少ないだけに、金利が現行水準にとどまると、上値は追にくい。日本では、主要企業の業績発表が相次ぐ中、金融政策や為替相場動向にも神経質にならざるを得ない。方向感に乏しい一進一退の展開を予想。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルが小幅安。米金利の上昇に歯止めがかかったことが主因。ただし、日欧ともに自国通貨高に繋がるような材料もなく、レンジ内での推移にとどまった。

今週は、円相場に関しては、週末のG7が焦点となっている。足元までの円安傾向に対し、欧州勢から議題に上るとの見方が出ており、G7後の円高圧力の強まりが警戒されている。しかし、これまでの相場展開は専ら日米欧間の金利（感）格差で十分に説明ができるものであること、米財務長官もそうした見方を取っていることなどから、議題に上ることはあるにせよ、声明文に上がる可能性は極めて小さいと判断される。市場も、円安牽制を意図するような声明文になることを織り込んだ動きになるとは考えにくい。むしろ、日米欧の当局者のアクションが動意になろう。中でも注目されるのが、岩田日銀副総裁の講演内容と、ECBの声明文。それぞれの内容次第で、相場の方向が決まる可能性もある。筆者としては、岩田副総裁の講演内容からは日銀2月利上げ観測の後退が、ECB声明文からは3月追加利上げが示唆される結果、ユーロ>ドル>円の構図は変わらないと予想。

【商品市場】：図表は7ページ

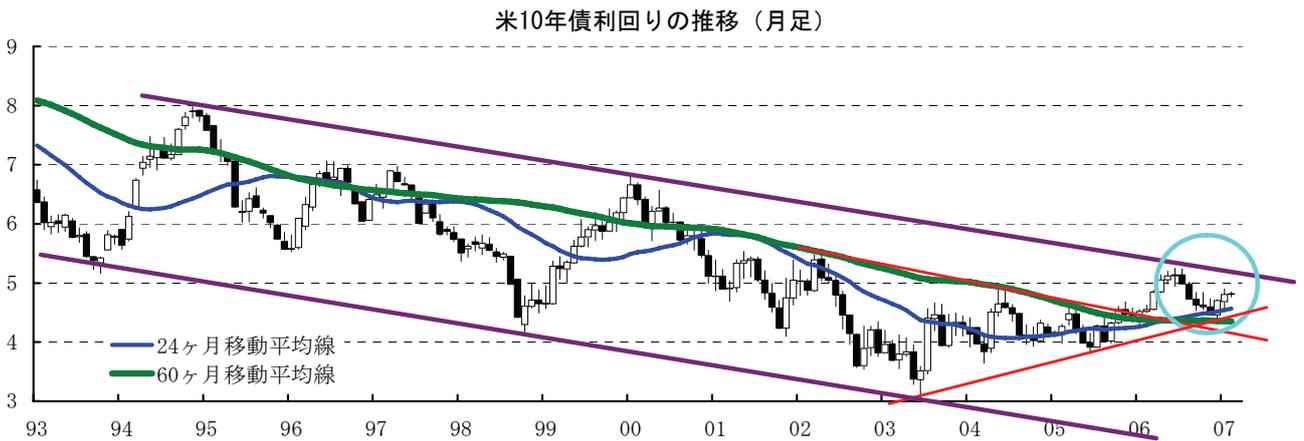
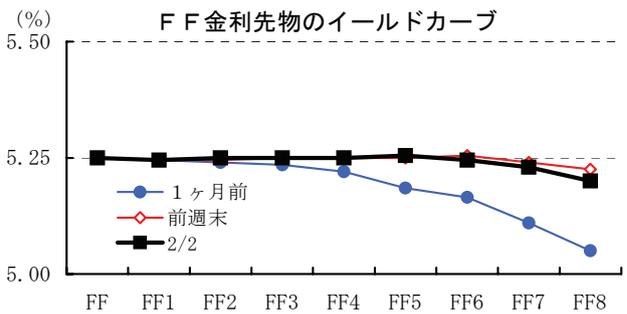
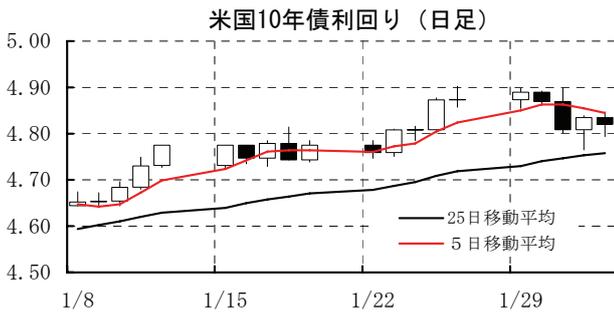
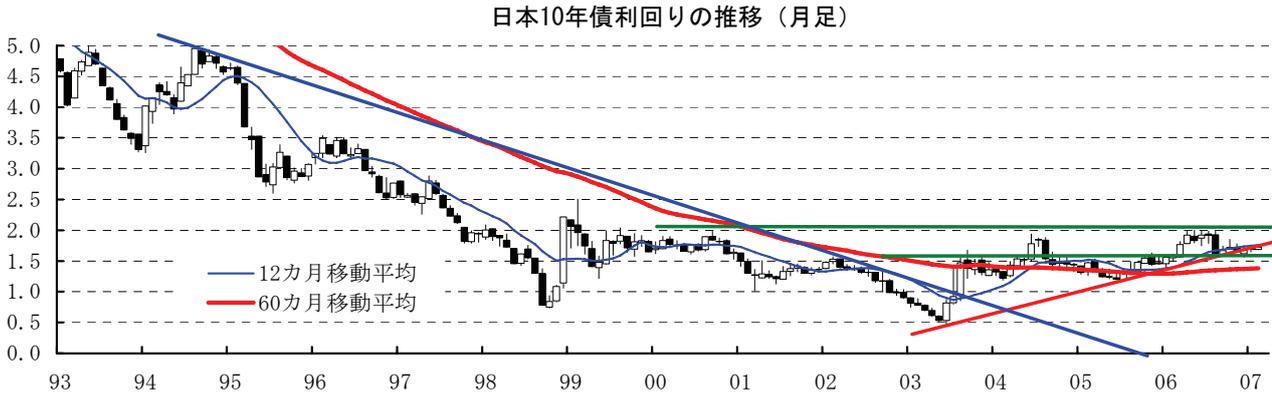
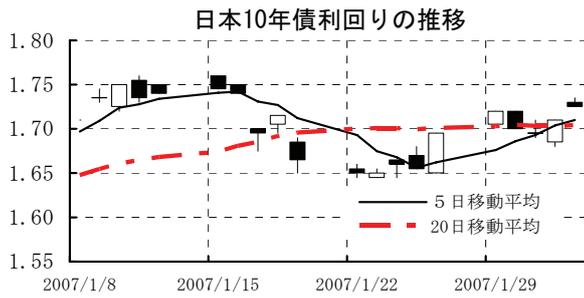
先週は、前週に続き原油価格は大幅に上昇した。米国での低温や世界的な景気回復感の強まりが背景。非鉄相場はまちまち。

今週は、原油価格はまだガソリン相場には遠く、引き続き暖房油需給が材料となっている。したがって、米国の天候次第で上下にぶれやすい展開が続こう。

[債券市場]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前	
2年	日本	0.760	+45	▲4	+3	▲18	+1	+8	+9	▲2	▲10	▲6	▲4
	米国	4.933	+34	+14	▲3	▲18	▲9	+1	▲9	+20	+11	+3	+6
	イギリス	5.523	+114	+31	+0	+15	+4	+12	+0	+17	+28	+7	+2
	ドイツ	3.913	+95	+3	▲6	+1	+6	+9	▲2	+23	+8	+1	+1
	スイス	2.538	+92	+4	+1	+1	+17	+0	+6	+27	+9	▲4	+2
	スウェーデン	3.844	+101	+13	▲2	+4	+3	+4	+2	+23	+14	+4	+6
	ポーランド	4.496	+14	▲6	+0	▲11	+7	▲23	▲3	▲8	▲13	▲10	+12
	カナダ	4.120	+20	+12	▲1	▲15	▲7	+7	▲10	+15	+9	+1	+5
	メキシコ	7.410	▲11	+25	▲21	▲8	+9	▲11	▲5	▲10	+36	+6	+14
	ニュージーランド	6.691	+86	+5	+5	+2	+0	▲8	▲14	+23	+3	▲5	+16
	オーストラリア	6.199	+89	▲4	+7	▲14	+1	+26	▲6	+19	▲6	+1	▲13
	韓国	5.053	+12	+8	▲6	▲6	▲17	+9	+12	+13	+11	+0	+11
シンガポール	3.010	+38	+0	+0	+19	▲19	+8	▲5	+3	▲2	+2	+1	
タイ	4.642	+1	▲44	▲4	▲11	▲22	▲4	▲23	+32	▲44	▲21	+4	
インド	7.294	+47	+8	+0	+4	▲21	+23	▲6	+22	+0	+2	+0	
10年	日本	1.725	+17	+5	+3	▲30	+5	+5	▲8	+3	+2	▲8	+3
	米国	4.820	+26	+14	▲5	▲25	▲10	▲3	▲14	+24	+11	+0	+10
	イギリス	5.002	+80	+24	+2	▲9	+1	▲1	+0	+23	+24	+0	+8
	ドイツ	4.061	+55	+12	▲3	▲16	▲5	+3	▲5	+25	+16	▲1	+4
	スイス	2.631	+42	+11	▲1	▲21	▲9	+4	▲13	+23	+15	▲9	+2
	スウェーデン	4.020	+54	+25	+2	▲13	▲6	+2	▲9	+21	+25	+3	+7
	ポーランド	5.192	+21	+2	▲2	▲1	▲8	▲21	▲13	+5	▲6	▲12	+10
	カナダ	4.184	▲0	+12	▲1	▲21	▲11	+2	▲12	+18	+9	+0	+6
	メキシコ	7.790	▲42	+35	▲22	▲30	+2	▲31	▲20	▲31	+48	+11	+13
	ニュージーランド	6.006	+17	+8	+1	▲10	▲4	+4	+1	+16	+9	+2	+8
	オーストラリア	5.695	+30	▲21	▲14	▲17	▲16	+15	▲7	+31	+4	▲1	▲5
	韓国	5.133	▲27	+7	+4	▲9	▲23	+18	+7	+8	+0	+2	+5
シンガポール	3.190	▲20	+14	+1	▲11	▲20	▲1	▲17	+3	+13	+6	+7	
タイ	4.757	▲69	▲64	▲5	▲14	▲23	+5	▲36	+60	▲64	▲22	▲6	
インド	7.698	+42	+16	▲20	▲35	▲23	▲1	▲22	+19	+15	+10	+6	
長短スプレッド	日本	+96.5	▲28	+9	▲0	▲11	+4	▲2	▲16	+5	+12	▲1	+7
	米国	▲11.3	▲8	▲0	▲2	▲8	▲1	▲4	▲5	+4	▲0	▲3	+4
	イギリス	▲52.1	▲34	▲6	+2	▲23	▲3	▲13	+0	+6	▲4	▲6	+6
	ドイツ	+14.8	▲39	+9	+3	▲17	▲11	▲6	▲3	+2	+8	▲2	+3
	スイス	+9.3	▲51	+7	▲2	▲22	▲27	+4	▲19	▲4	+6	▲5	+0
	スウェーデン	+17.6	▲47	+12	+4	▲17	▲9	▲2	▲11	▲2	+11	▲1	+0
	ポーランド	+69.6	+7	+7	▲3	+11	▲15	+2	▲10	+13	+7	▲1	▲2
	カナダ	+6.4	▲20	+1	+0	▲5	▲4	▲5	▲2	+3	+0	▲1	+1
	メキシコ	+38.0	▲31	+10	▲0	▲23	▲6	▲20	▲15	▲21	+12	+4	▲1
	ニュージーランド	▲68.5	▲69	+4	▲4	▲12	▲4	+12	+14	▲7	+6	+7	▲8
	オーストラリア	▲50.4	▲60	▲16	▲21	▲3	▲18	▲11	▲1	+13	+10	▲2	+8
	韓国	+8.0	▲39	▲1	+9	▲3	▲6	+9	▲5	▲5	▲11	+2	▲5
シンガポール	+18.0	▲58	+14	+1	▲30	▲1	▲9	▲12	+0	+15	+4	+6	
タイ	+11.5	▲70	▲20	▲0	▲3	▲2	+9	▲14	+28	▲20	▲1	▲10	
インド	+40.4	▲5	+9	▲20	▲39	▲3	▲23	▲16	▲3	+15	+8	+6	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化幅(例：4週間前=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。
直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。
網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

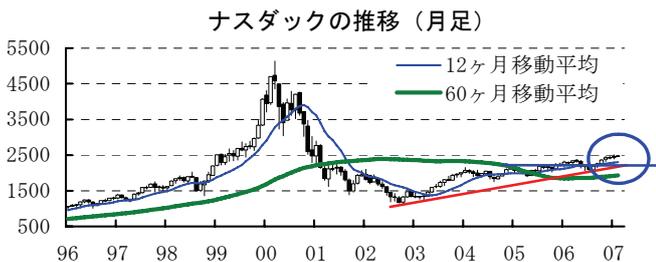
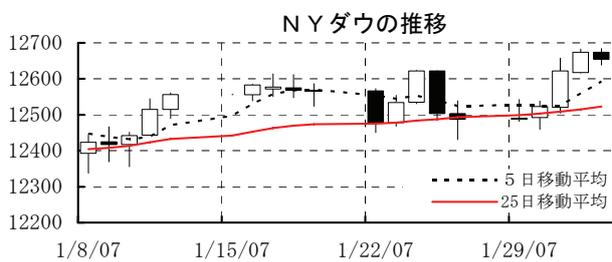
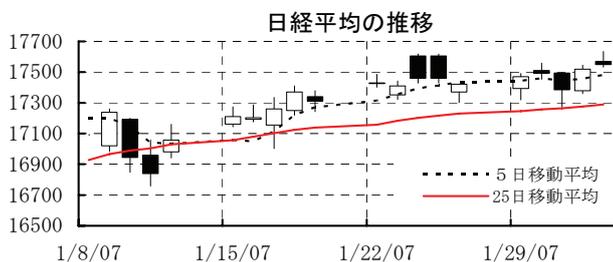
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
			1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
						6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本	日経平均	17547.11	+5.0	+1.9	+0.7	+4.4	▲0.1	+1.7	▲0.8	+5.8	+0.9	+1.5	+0.6
	TOPIX	1742.40	+1.8	+3.6	+0.8	+4.0	▲1.5	+0.4	▲0.9	+4.9	+2.4	+1.7	+0.8
	日経店頭	2214.94	▲20.5	+4.2	+0.2	+3.1	▲3.0	▲1.9	▲3.7	+2.4	+3.9	+2.1	+0.9
米国	N Y ダウ	12653.49	+16.6	+1.5	+1.3	+1.7	+2.6	+3.4	+1.2	+2.0	+1.3	+0.1	▲0.6
	S P 500	1448.39	+14.0	+2.1	+1.8	+2.1	+2.5	+3.2	+1.6	+1.3	+1.4	▲0.0	▲0.6
	ナスダック	2475.88	+8.5	+2.5	+1.7	+4.4	+3.4	+4.8	+2.7	▲0.7	+2.0	▲2.1	▲0.6
	フィラデルフィア半導体	466.49	▲13.0	▲0.3	+0.8	+8.8	+1.2	+0.8	+4.6	▲2.3	▲1.9	▲5.3	+1.3
イギリス	F T 100	6310.90	+9.8	+0.0	+1.3	▲0.4	+0.9	+2.8	▲1.3	+2.8	▲0.3	▲0.0	▲0.1
ドイツ	D A X	6885.76	+21.9	+3.1	+2.9	+3.1	+2.5	+4.4	+0.6	+4.6	+2.9	+0.6	▲0.8
欧州	ダウ欧州50	3819.34	+11.4	+1.9	+1.6	+2.1	+0.8	+3.3	▲1.8	+2.6	+1.7	+0.3	▲0.6
スウェーデン	ストックホルムOMX	1187.09	+22.4	+2.0	+0.8	+5.1	+4.5	+4.4	▲1.6	+7.4	+3.4	+1.8	▲0.3
ポーランド	ワルシャワWIG	55314.03	+45.7	+8.0	+3.4	▲5.5	+1.6	+7.5	+6.1	+0.4	+8.2	+5.9	▲1.0
ロシア	R T	1896.62	+42.1	▲1.3	+1.8	+4.9	▲4.7	+4.1	+10.1	+8.2	▲4.1	+0.9	+2.8
メキシコ	ボルサ	27933.07	+46.6	+4.8	+3.3	+4.7	+4.2	+5.1	+8.3	+6.0	+4.2	▲0.4	+3.2
ブラジル	ボベスパ	44997.83	+20.6	▲0.8	+1.3	▲2.3	+0.6	+7.7	+6.8	+6.1	+0.4	+0.8	+2.3
アルゼンチン	メルバル	2081.27	+22.5	▲2.7	+2.1	▲2.3	▲1.5	+8.8	+10.4	+6.3	▲0.9	▲1.7	+0.1
N Z	ニュージーランド SX50	4144.40	+21.6	+2.2	+0.6	▲2.0	+2.3	+5.4	+2.1	+5.0	+2.4	+1.0	+0.7
オーストラリア	A S 200	5831.50	+18.9	+2.8	+1.1	+2.6	+0.8	+4.5	+1.8	+3.4	+1.8	+0.6	+1.7
香港	ハンセン	20563.68	+31.0	+1.2	+1.4	+2.5	+0.9	+4.5	+3.5	+5.3	+0.7	+3.6	▲0.2
韓国	総合	1413.14	+2.8	+0.3	+3.0	+4.2	+1.4	▲0.5	+5.0	+0.2	▲5.2	▲2.0	+0.8
台湾	加権	7777.03	+19.1	▲1.8	▲0.6	+2.4	+4.1	+2.0	+7.8	+3.4	▲1.6	+1.0	▲0.2
シンガポール	S T	3217.68	+31.8	+7.8	+4.2	+1.5	+3.5	+5.2	+5.1	+5.2	+4.7	+2.1	+0.5
タイ	S E T	670.60	▲9.9	▲1.4	+2.0	▲0.1	▲0.7	+5.3	+2.3	▲8.0	▲3.8	+1.9	▲0.1
インド	ムンバイSENSEX30	14403.77	+46.3	+3.3	+0.8	+8.9	+6.5	+4.1	+5.7	+0.7	+2.2	+0.9	+0.7
中国	上海A	2808.34	+112.9	▲0.2	▲7.3	+2.9	+5.5	+4.9	+14.2	+27.6	+4.0	+6.1	+1.8
サウジアラビア	サウジ証取株価	7134.80	▲62.5	▲10.1	+2.1	+2.4	+1.4	▲13.7	▲14.3	▲4.7	▲11.2	▲0.5	▲2.2
クウェート	クウェート総合	9601.0	▲20.2	▲4.6	▲1.1	+2.6	+4.6	+3.4	▲6.8	+3.2	▲3.5	▲3.1	▲0.9
U A E	ドバイ金融市場	354.19	▲63.7	n.a.	n.a.	+12.6	▲5.2	▲3.6	▲15.2	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

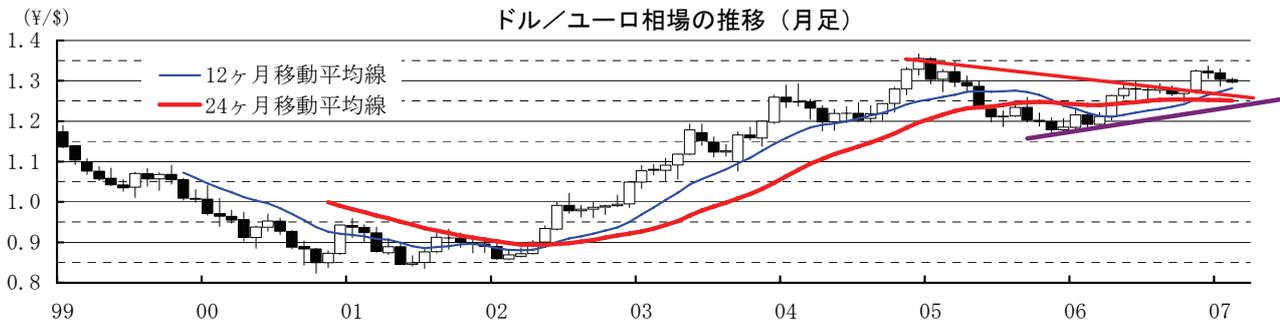
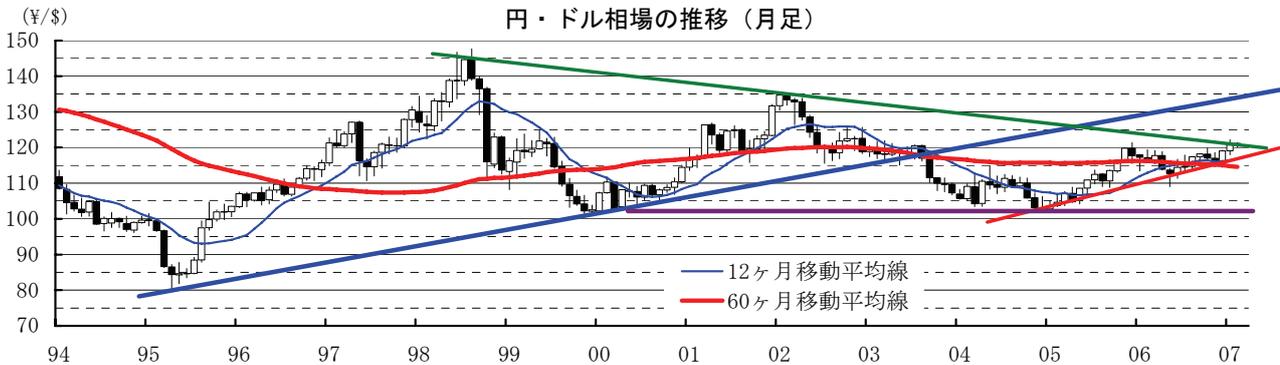
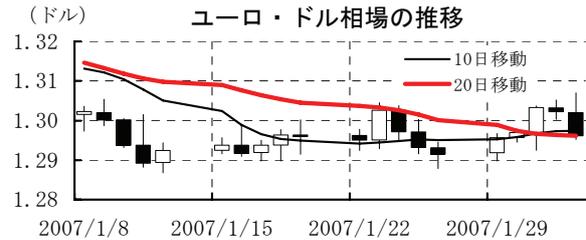
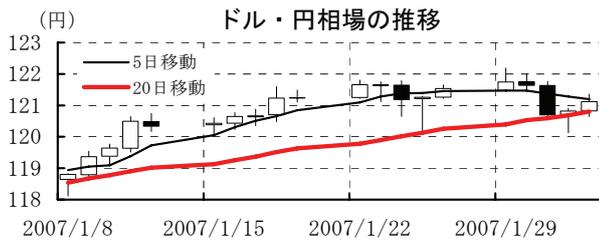


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	121.12	▲1.5	▲1.9	+0.3	▲2.4	▲0.7	+1.0	+1.0	▲2.8	▲1.4	▲0.8	▲0.2
ユーロ	1.2961	+6.9	▲2.3	+0.4	+0.4	▲1.1	+0.7	+3.8	▲0.3	▲1.3	+0.3	▲0.3
イギリスポンド	1.9660	+10.1	▲0.4	+0.3	+2.0	▲1.7	+1.9	+3.1	▲0.4	+0.3	+0.7	▲0.7
スイスフラン	1.2481	+2.9	▲2.8	+0.4	+0.1	▲1.6	+0.5	+3.7	▲1.8	▲2.1	▲0.1	▲0.4
スウェーデンクローナ	6.9973	+8.2	▲2.9	+0.6	▲0.5	▲1.2	+1.5	+5.2	▲0.0	▲1.4	+0.1	▲0.2
ポーランドズロチ	3.0173	+5.9	▲4.6	+0.7	+0.2	▲1.7	+4.2	+4.1	▲0.8	▲3.2	+0.7	▲2.2
ロシアルーブル	26.512	+5.7	▲0.8	+0.3	+0.2	▲0.2	+0.3	+1.7	▲0.2	▲0.5	+0.2	▲0.2
カナダドル	1.1844	▲3.3	▲1.6	▲0.4	+2.4	▲1.3	▲0.4	▲1.6	▲2.2	▲0.9	▲0.2	▲0.6
メキシコペソ	10.947	▲4.0	▲1.7	+0.9	+0.5	▲0.7	+2.1	▲2.1	+1.4	▲1.7	+0.8	▲1.5
ブラジルリアル	2.104	+5.9	+1.3	+1.6	+1.5	▲1.2	+1.2	▲1.1	+1.4	+0.5	+0.5	▲0.4
アルゼンチンペソ	3.099	▲1.1	▲1.4	+0.2	▲0.8	▲0.2	+0.5	+0.7	+0.3	▲1.6	▲0.2	▲0.6
NZドル	0.681	▲0.9	▲3.6	▲2.2	+6.1	▲0.5	+2.7	+2.1	+2.9	▲1.8	+0.7	+0.1
オーストラリアドル	0.7750	+3.0	▲2.6	+0.2	▲0.3	▲2.3	+3.7	+2.0	▲0.0	▲1.5	+0.8	▲2.1
韓国ウォン	937.30	+3.8	▲1.3	+0.4	▲0.6	+1.6	+0.5	+1.4	▲0.1	▲1.2	+0.4	▲0.5
台湾ドル	32.916	▲2.9	▲1.6	+0.1	▲0.5	▲0.6	▲0.5	+2.7	▲0.7	▲1.1	▲0.2	▲0.4
シンガポールドル	1.5353	+6.1	▲0.3	+0.2	+0.4	▲0.9	+2.0	+1.0	+0.2	+0.1	+0.4	▲0.1
タイバーツ	34.93	+12.3	+1.4	▲4.3	+0.7	+0.0	+2.3	+2.4	+1.0	+1.9	+1.9	+4.9
インドネシアルピア	9088	+3.0	▲1.1	+0.8	▲0.1	▲1.6	+1.4	▲0.8	+1.9	▲1.2	+0.5	▲0.9
インドルピー	44.10	+0.3	+0.3	+0.5	+0.0	+1.3	+2.0	+0.6	+1.1	+0.2	+0.3	▲0.1
中国人民幣	7.756	+3.7	+0.63	+0.25	+0.20	+0.61	+0.32	+0.58	+0.36	+0.39	+0.31	▲0.02

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
WT I	59.02	▲8.8	▲3.3	+6.5	▲10.5	▲6.6	+7.5	▲3.3	▲4.8	▲4.8	▲1.9	+6.6
北海ブレント	58.41	▲7.1	▲3.4	+5.6	▲11.1	▲5.5	+8.9	▲5.3	▲5.7	▲5.7	+0.9	+3.5
ドバイ	55.06	▲9.5	▲4.5	+6.4	▲12.4	▲1.5	+4.3	▲4.2	▲6.5	▲6.5	▲2.3	+4.4
OPECバスケット	53.55	▲10.0	▲4.5	+5.1	▲11.8	▲7.2	+10.0	▲4.6	▲6.2	▲6.2	▲1.9	+5.7
金 (NY)	646.2	+12.9	+1.3	+0.1	▲4.7	+1.4	+6.6	▲1.3	+2.1	+2.1	+1.5	+1.5
銅 (NY)	241.00	+3.9	▲15.6	▲8.1	▲0.3	▲3.6	▲4.9	▲10.0	▲9.5	▲9.5	▲2.8	+4.0
アルミ (NY)	127.50	+6.4	+2.0	+1.6	+4.2	+9.4	▲5.5	+2.5	▲4.8	▲4.8	+1.7	+2.4
鉛 (LDN)	1630	+15.2	▲1.3	▲2.7	+14.0	+17.2	+2.8	+0.1	+0.8	+0.8	▲2.2	+6.3
亜鉛 (LDN)	3080	+29.2	▲25.4	▲15.4	▲3.5	+26.7	+3.7	▲3.3	▲17.7	▲17.7	▲3.2	▲0.3
ニッケル (LDN)	37400	+146.1	+15.2	▲1.8	▲1.6	+10.6	+8.3	▲1.8	+11.0	+11.0	+11.3	+5.5
スズ (LDN)	11700	+48.1	+2.2	▲4.1	▲0.4	+16.2	+2.0	+10.1	+4.3	+4.3	+8.1	+7.0
銀 (NY、現物)	13.39	+35.9	+1.6	+0.2	▲11.4	+7.4	+13.6	▲7.6	+4.8	+4.8	▲0.2	+4.0
プラチナ (NY、現物)	1158	+7.3	+1.8	▲1.4	▲8.2	▲5.3	+10.0	▲5.3	+4.9	+4.9	+1.0	+1.4
小麦 (シカゴ)	461.25	+32.8	▲7.9	▲0.5	+9.7	+9.0	+3.9	▲0.2	▲6.7	▲6.7	▲2.6	▲0.7
大豆 (シカゴ)	212.70	+16.9	+10.8	+3.4	+3.0	+17.1	+2.0	▲0.8	+8.1	+8.1	+2.1	▲1.7
コーン (シカゴ)	402.00	+82.3	+3.0	▲0.9	+13.1	+22.2	+17.5	+3.5	+3.5	+3.5	+2.6	▲0.3
CRB	301.33	▲12.2	▲1.9	+1.8	▲5.9	▲7.1	+0.1	+5.1	▲4.4	▲2.0	▲0.0	+1.9
JOC	131.33	+6.5	▲1.1	▲1.3	▲0.6	+0.4	▲0.7	+1.7	+3.1	▲0.6	▲0.1	+1.9
日経商品指数 (17種)	137.15	+10.0	▲0.5	▲1.1	+0.1	+0.9	+3.2	▲0.4	+2.5	+0.4	+0.0	+2.3
日経商品指数 (国際)	128.89	+5.8	▲0.8	+0.4	▲3.2	▲4.6	+2.3	+2.2	+0.1	▲0.3	▲2.3	+3.9

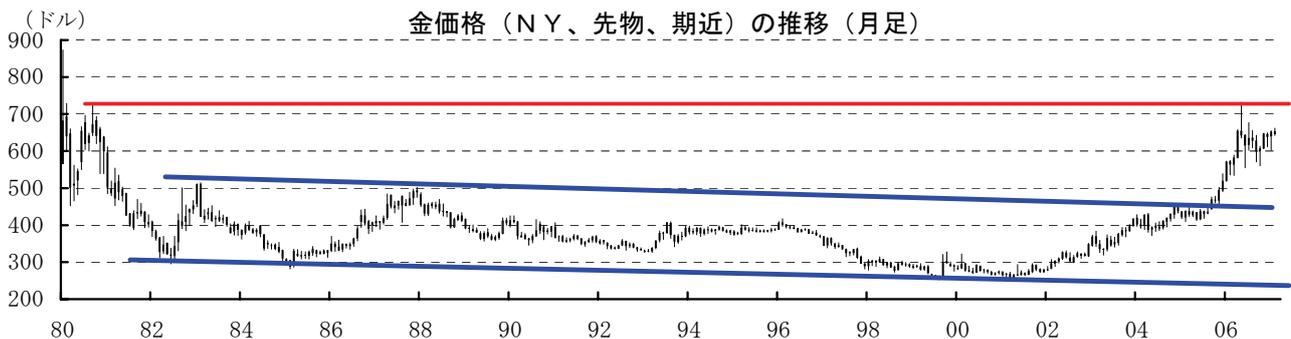
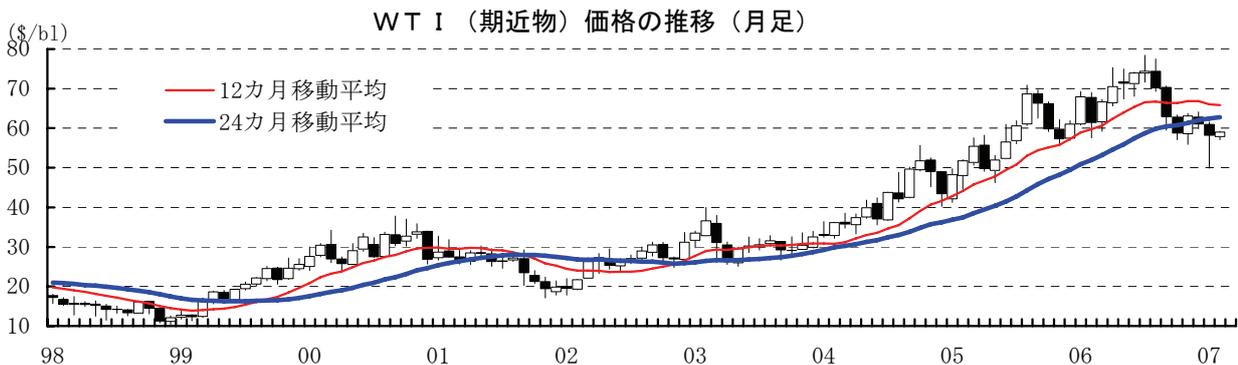
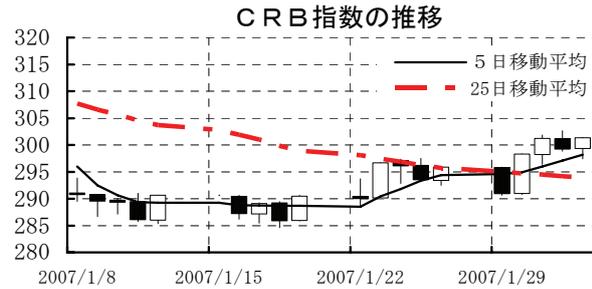
(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率 (例：4週間=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数 (国際) は木曜日、日経商品指数 (17種) は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。